

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部 局 名	市民生活部	
	課 名	防災安全課	
	係 名	消防防災係	
	記 入 者		電話(内線) 281

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	防火水槽新設事業		(3) 事業の 優先度	A
(4) 総合計画での位置づけ				(6) 事業主体	市	
① 事業の区分	主要事業				(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質 普通建設事業費(ハード事業)
② 施策コード	24403	(総合計画掲載ページ)	84	(ページ)	会計区分	一般会計
基本目標(政策)	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)			財源区分	市単独	
基本施策	2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)			予算科目	款 9	項 1 目 3
施策	④消防・救急体制の強化			予算書上の 事業名称	防火水槽新設事業費	
施策内容	3消防水利の設置				(予算書 150 ページに掲載)	
(5) 事業期間	開始 平成 27 年 4 月から			(8) 事務分類	自治事務	
	終了 年 月まで (力年)			根拠法令	消防法	

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象(だれに対して・何に対して行うのか)	結城市民	(3) めざす姿(意図・どのような状態になるのか)	市内全域における消火作業に対応するため、耐震性貯水槽を新設し、充足率の向上と適切な配置に努力する
(2) 手段(事業内容・どのようなことを行うのか)	消防水利が不十分な地区への耐震性貯水槽設置	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)	火災時に消火栓を使用すると濁りが発生し、二次災害となる恐れがあるため、消防水利としての貯水槽の設置を進めている
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	地域住民からの設置要望に対応していく		

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映					
実施計画											
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）					
事業内容		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度		31 年度	
（１）事務事業費	耐震性貯水槽（40t 小塙）	8,532									
	耐震性貯水槽（40t 逆井）			7,172							
	耐震性貯水槽（40t 四ツ京）										
	耐震性貯水槽（40t）										
	耐震性貯水槽（40t）										
	合計	8,532		7,172							
	財源	国庫支出金（千円）									
県支出金（千円）											
地方債（千円）		8,500		7,100							
その他特定財源（千円）											
一般財源（千円）		32		72							
合計（千円）		8,532		7,172							
補助・起債制度名		防火水槽新設事業債		防火水槽新設事業債							

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）									
指標の名称				単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名	公設基数	目標値	基		2	2	2	2	
		実績(見込)値		1	1				
		目標値							
		実績(見込)値							
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名	公設基数	目標値	基		2	2	2	2	
		実績(見込)値		1	1	1	1	1	
		達成率		50.0 %	50.0 %				
		目標値							
		実績(見込)値							
		達成率	%	%					
5. 事業評価									
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価				理由					
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	災害時における消防水利確保のためには、必要である。					
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である						
	手段の妥当性	A	妥当である						
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	貯水槽設置に伴う工事費削減のため、市有地や公共工事に合わせて工事を実施することにより、経費の削減を図る。					
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	近年は、区画整理地内の公園予定地に設置しているため、北部地域に設置が多くみられるが、要望等にも対応していくため、偏りは見られない。					
有効性	成果の向上	A	上がっている	毎年1基ではあるが、設置を行っている。					
進捗度	事業の進捗	A	順調である	毎年1基ではあるが、設置を行っている。					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。									
今後、各地域からの要望に対応していくためには、その用地の確保等に関して、問題となってくる。									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？									
要望を頂いた時点で、用地等についても地元と相談をし、確保に当たっていく。									
6. 事業の方向性判断									
評価主体		28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			注）記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			消防防災の観点から、消防水利の確保が重要である。消防水利が不十分な地域へ防火水槽を新設し、消防水利の充足率の向上と適切な配置に努めていく。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。				